



浜田市立 長浜小学校

浜っ子だより

2学期の終わりにあたり…



上の2枚の写真は、12月5日に行った校内持久走記録会の時の1年生と6年生を撮影したものです。ご覧の通り、体格や走りの力強さなど、大きな違いがあります。間もなく小学校生活を終えようとしている6年生も、5年前にはあどけなさや可愛さの残る1年生でした。それが6年という長い時間をかけ、たくましく、そしてたのしく成長しました。1年生にしても、4月の入学当初に比べると、ほんとに大きく成長しました。苦しさにも寒さにも負けず、600mという距離を最後まで懸命に走り切った姿には、入学してからの8ヶ月という時間での成長を感じることができました。

何が言いたいのかといいますと、時間の経過とともに、子どもたちは確実に成長するということです。今更そんな当たり前のことを…と思われるかもしれませんが、私達大人は、日々の生活の中でなかなかそのことに気づかないのではないのでしょうか。こうした行事や活動の際に、あるいはふとした瞬間に、思いがけず、子どもたちの成長ぶりに気づき、驚くことって決して珍しくないと思います。先月あった学習発表会後の保護者の感想に次のようなものがあり、私の心に深く残っています。【自分自身、小学生の頃はボヤーンと過ごしていましたが、大人になった今、こうして子ども達の姿を見ていると、学校で過ごす全ての時間に、無駄なものは何一つ無いんだな、と改めて感じます。】そうです。子どもたちが日々過ごしている時間の中に無駄な時間、無駄なものなんてないのです。すべての時間が、すべての経験が子どもたちの成長につながっているのです。持久走記録会の時の姿だけではなく、今学期の様々な場面で242人の子どもたちが見せてくれた素敵な姿、成長した姿がそのことを物語っているように思います。

来週の25日の終業式をもって2学期が終了します。242名の長浜っ子は、一日一日を大切にしながら、きらきらと輝く姿をたくさん見せてくれました。本当に充実した2学期になりました。これも学校を信じ、学校に期待し、日々の教育活動の充実のために温かいご理解とご支援をくださった保護者、地域の皆様のお力添えのおかげです。行事や活動のたびに、保護者や地域の皆様は、子どもたちだけではなく、私たち教職員にも労いやお褒めの言葉をくださいました。そうした温かなお言葉一つ一つのおかげで、子どもたちも教職員も、安心して様々なことに挑戦し、自信をもち、頑張りが続けたのです。

保護者、地域の皆様の温かい愛情に包まれ、242人の子どもたちは大きく、大きく成長した2学期でした。一言では言い表せませんが、本当に感謝申し上げます。2学期の終わり、そして2024年の終わりを、242人の長浜っ子が健康で無事に迎えられということが、学校にとりましては何よりの喜びであり、幸せです。本当にありがとうございました。

保護者、地域の皆様、どうぞよいお年をお迎えください。

写真で振り返る【長浜っ子の2学期】

【目標を立てる】【努力を続ける】【自分を信じる】の話をした2学期の始業式から、あっという間の79日間でした。242名の長浜っ子は、いつも明るく、元気で、笑顔いっぱい毎日過ごしました。その姿はきらきら輝き、まさに【みんなが かがやく 長浜小学校】でした。



1年生：さつまいも掘り



2年生：町たんけん



3年生：消防署見学



4年生：柿田勝郎面工房見学



5年生：港の大研究



6年生：石見焼陶芸体験



たんひますず：たんひますず商店



大運動会



浜田市小学校体操競技大会



学習発表会



浜田市小中学校連合音楽祭

子どもたちの一生懸命な姿って美しい！！

「石見焼」の陶芸体験に挑戦

11月26日・28日、6年生が「石見焼」の陶芸体験をしました。長沢町にある【石見焼 尾上窯】の螺山勝實様ほか2名の講師の方にお世話になり、「石見焼」に挑戦しました。



粘土の塊をこね、伸ばしたり、ちぎったり、掘ったり、重ねたり、試行錯誤を繰り返しながら自分が作りたい物を形作っていました。始めに説明を受けて制作活動に取りかかったのですが、聞いただけでは、そうそううまくはいきません。何度も一からやり直す子どももいました。それでも、自分だけの作品を作ろうと、粘り強く制作活動に取り組みました。途中で作業が行き詰まり、講師の先生の手助けを受けた子どももいましたが、その際には匠の技に触れ、その技術の高さに驚いていました。

今回の活動では、伝統工芸に触れるだけではなく、本物の匠のすごさ・技を実感することもでき、子どもたちにとって貴重な学びになったはずです。

【お礼の手紙より】

○石見焼を体験したのは初めてで、すごく難しかったけど、自分のコップが作れてよかったです。すごく難しいことを三人の方は簡単そうにやっていて「すごすぎる！」と思いながら見ていました。
○今回みたいに手で皿を作っている番組を見たことがあって、「いつか自分も作ってみたい」と思っていました。それが今回、本当に自分の手で作ることができてうれしかったです。

町たんけんでの素敵な出会い

11月27日（水）、2年生が町たんけんに出かけました。



学校を飛び出した2年生は、それぞれの見学場所で、五感を働かせて【ひと・もの・こと】に関わりました。そして、たくさんの気付きや発見をしました。ふるさと：長浜には素敵な【ひと・もの・こと】が溢れていました。

たんけん先での出会いやふれあいを通して、子どもたちは、自分たちのふるさと：長浜に対して、誇りや愛着を感じたことと思います。そして、これまで以上に長浜を好きになったはずです。

ご協力いただきました地域の皆様、ありがとうございました。

○二人ともすごくかっこよかったです。たてが思ったよりもっと大きかったです。けいぼうがのびたりちんだりするのが、すごくかっこよかったです。（長浜駐在所を見学した児童）
○まちづくりセンターに竹で作ったつるがあるのがすごかったです。2階で神楽、1階でイベントをしているのですてきです。（長浜まちづくりセンターを見学した児童）

校内持久走記録会

12月5日（木）、校内持久走記録会がありました。この日はあいにくの曇り空で、気温も低く、走るには辛い条件だったかもしれませんが、どの学年の、どの子どももゴールを目指して最後まで一生懸命に走り抜きました。

長浜小学校は学校教育目標を【未来を「生きる力」の育成】とし、その「生きる力」の一つとして【体力】を挙げています。体力と言っても、決して身体面の体力だけではなく、心の体力、言い換えると、頑張る力・あきらめない力・やりきる力も含めています。今回の持久走大会は、体と心の両面の体力の育成を目指した活動でした。

子どもたちは、決してこの日の記録会だけを頑張ったわけではありません。体育の時間や、学習発表会後から始まったマラソン週間の取組を利用して、一人一人が練習を積み重ねてきました。私は、記録会までのこの取組に大きな意味があったと考えています。子どもによって目標はそれぞれ違いますが、目標達成に向かうための努力を誰もが積み重ねたのです。大切なことは目標を立て、その達成のために努力を積み重ねることです。子どもたちは、その大切なことをしっかりとやり遂げました。

持久走記録会への取組を通して、またひと回り大きく成長した長浜っ子たちでした。



【持久走記録会後の児童の感想より】

○私は最後の4週目を走る時、「もう無理だ。走れない。」と思いました。でも、3年生と4年生が大きな声で応援してくれて私は「無理」という気持ちを「まだいける」という気持ちに切り替えて走ることができ3年生の時よりも速く走ることができて泣きそうになりました。ゴールの時も抜かされそうになったけど、先生やみんなが大きな声で応援したり拍手したりしてくれたので、最後の力を振り絞りました。
○今日の持久走記録会でよかったことが2つあります。1つ目は、最後本気を出し、前の人を抜かせたことです。2つ目は、諦めずに走れたことです。ぼくは持久走が始まる時すごくドキドキしていたけど、最後はおもしろかったと思っていました。自分でも、最後まであきらめない男なんだなと思いました。

1月の主な行事

8日（水）3学期始業式 校外班会 給食開始 卒業写真
15日（水）委員会
16日（木）書初め会（全校） SC 来校日
PTA 新役員情報交換会 19:00～
21日（火）お話P
22日（水）クラブ
23日（木）SC 来校日
24日（金）1月参観日 PTA 行事（全校かくれんぼ）
27日（月）書き取り・計算会週間
29日（水）クラブ



★あくまでも予定ですので、変更になることもあります。